

(措置状況報告書)

平成25年度 財政支援団体等監査指摘・措置状況							
部・局	所属課	表題	団体	指摘事項・意見等		措置内容又は措置方針等	措置状況報告日
総務部	行政管理課	指定管理施設の運営状況について	(公財)越前文化振興・施設管理事業団	意見	<p>事業団は、今年度から公益法人に移行し、芸術文化振興事業の推進に取り組むと宣言する事業方針を決定している。しかし、平成24年度の事業団収支決算は、785万円余りの赤字となっており、特に、いまだて芸術館においては、507万円余りの赤字が計上されている。昨年度の監査指摘において、指定管理施設の収支は、本来施設ごとに評価すべきであり、指定管理者として赤字増大・発生原因について検証されたいと意見を述べたが、改善されていないことは遺憾である。また、事業方針の中に、自主財源の確保の取組みとして、施設単体での収支相償に努め、安定経営のための経営的視点の強化に努めるため、25年度より検討を行い、実施は26年度となっているが、危機感を持って1年前倒しする等の方針変更も含め対策を至急検討されたい。</p>	<p>昨年度の事業団の収支決算のうち、いまだて芸術館の赤字の主な要因につきましては、人事異動による職員の配置換えに伴う人件費の増加や舞台設備・舞台照明など緊急性を要する修繕費が高んだことによるものです。当施設をはじめ、他の指定管理業務を行う施設につきましても、今年度から前倒しをする形で施設ごとの収支見直しを立て、新会計基準に沿って適正な執行を行っております。</p> <p>自主財源の確保対策につきましては、今年度においてプロモーターとの共催事業を展開することで経費の節減やプレイガイドの業務を拡大するなどの取組みを先行して実施しております。</p> <p>さらに新年度においては、施設の特性や施設単体での収支相償を踏まえ、自動販売機の設置及び企画商品販売の外、施設利用者の拡大を図るとともに自主事業にも積極的に取り組むなどして一層の収益確保を行い、健全経営に努めてまいります。</p>	26.1.15